

## 第 27 回全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会（11 月 18 日、群馬大学）報告

本協議会の情報は、大学遺伝子協 website (<http://www1a.biglobe.ne.jp/iden-kyo/index.html>) に掲載されております。

この協議会には大学の遺伝子関連研究支援施設に加え、遺伝子組換え実験安全委員会も参加されています（会員 4 6、オブザーバ 2）。今回は会員として、理化学研究所安全管理部、東海大学遺伝子組換え実験安全委員会、オブザーバとして放射線医学総合研究所が参加することになりました。

例年本協議会でカルタヘナ法の説明が行われますが、より充実した内容の公開説明会が文科省主催、および本会主催で毎年行われるようになってきています。遺伝子組換え実験の管理に携われる方は、これら説明会に参加されてはいかがでしょうか。開催情報は大学遺伝子協 website に掲載されます。

本年度の総会では、企画委員会より、平成 24 年度の遺伝子組換え実験安全管理講習会の開催（7 月 7 日神戸開催予定）、遺伝子組換え安全教育の英語テキスト作成計画について報告がありました。同委員会では、WG を立ち上げ、英語での遺伝子組換え実験安全教育に用いるパワーポイントファイル、修了検定問題等の作成を予定しています。平成 24 年 11 月頃の完成、ネットでの公開が予定されています。各大学等における英語での安全教育の有用な教材になると思います。また、日本語での安全教育にも役に立つものと思います。公開されましたら、またお知らせしたいと思います。

遺伝子組換え生物等委員会より、第 2 種使用等の遺伝子組換え生物の譲渡等の情報提供書の様式例を作成し（要望があった）、大学遺伝子協 website で公開したとの報告がありました。多様な遺伝子組換え生物のうち、カイコ、メダカ、海産動物（ホヤ）の拡散防止措置の例が完成し、大学遺伝子協 website で公開され、カエル、ショウジョウバエ、ニワトリは進行中であることが報告されました。カルタヘナ相談窓口の情報を大学遺伝子協 website に掲載したことが報告されました。

（中川記）